

第 1 回 えびな南高齢者施設 運営協議会 会議録

日時：2026 年 6 月 20 日（土）14：00～16：00

場所：地域交流室（1 階）

参加者：（敬称略）

地域住民代表（自治会役員）	3 名
ボランティア代表	1 名
家族代表	2 名
施設職員代表	1 名（在宅介護課課長）
所長（司会）・副所長（記録）	2 名

1. 挨拶、会議員自己紹介

出席者それぞれより、自己紹介を行う。杉久保南部自治会より、本日は自治会長の代理として副会長が出席となったことを紹介。また、サンパルク自治会より自治会長が出席となることを紹介した。

2. 運営協議会の目的について

- (1) 要綱の確認・・・・・・・・・・・・・・・・中心会運営協議会 実施要綱参照
実施要綱にもとづき、開催目的や構成する会議員等について、説明を行った。
- (2) 中心会についての概略説明
 - ①社会福祉法人の特徴について・・・・・・・・全国経営協紹介動画・資料参照
全国経営協の動画、資料を見ていただき、社会福祉法人の特徴・活動内容について説明を行った。
 - ②法人のあゆみ・・・・・・・・・・・・・・・・えびな南パンフレット参照
 - ③中心会のスローガン“あなたがいてくれて良かった”と思える街づくり
パンフレットにもとづいて、説明を行った。
- (3) えびな南高齢者施設の概略説明・・・・・・・・ えびな南パンフレット参照
養護老人ホームと特別養護老人ホームの違い
公益的取組み事業の内容等を説明した。

3. 活動状況の報告

- (1) 2025 年度の実績について
 - ①運営状況・・・・・・・・・・・・・・・・資料①
 - ②ボランティアについて・・・・・・・・資料②
 - ③事故・苦情について・・・・・・・・資料③
 - ④防災関係 ～ 訓練の実施状況・・・・・・・・資料④
 資料①～④にもとづき、説明を行った。

(2) 感染症の発生状況について・・・・・・・・・・資料⑤

資料にもとづき説明を行い、介護、看護にあたる職員はウイルスを通さないマスク(N95 マスク)を着用して、感染予防をしていることを説明した。

ご意見・ご質問

- Q. 世間では物価高騰等で食品の値段が上がっている。施設の食事も同じようだと思うが何か影響はあるか。
- A. 食費だけではなく、光熱費やゴミ袋等にも影響が出ている。節約できることは工夫をしながら取り組んでいる。食事の質は落とすたくないと考えているので、調理にも工夫をしてもらいながら価格に影響ないようにしている。

Q. (運営状況について)

ショートステイの利用率が100%を超えている月があるのは何故だろうか。

- A. ショートステイ用のベッドは5床ある。この他に、特別養護老人ホームのベッドで、入院した方のベッドをショートステイ用のベッドとして使用することがある。(介護保険は日割り負担であることを説明) よって、ショートステイ用の5床に加えて入院した方のベッドを活用すると、100%超えの数字となる。

Q. (事故について)

特別養護老人ホームのほうが事故やケガは多いのだろうか。

- A. 養護老人ホームの方のほうが多い傾向にある(養護老人ホームと特別養護老人ホームの入所者の違いを説明)。自立された方でも、自由に行動されている生活範囲内で起きるやむを得ない事故はある。

Q. (防災訓練について)

防災訓練は、毎月行っているのか。

- A. 法定訓練として年3回実施している。この他に、ALSOK メールを活用して、地震と火災を想定し、職員を集める訓練(呼集訓練)を行っている。

(3) 社会福祉法人としての公益的取組み・・・・・・・・・・広報誌参照

- ①ライフサポート事業 ②就労支援事業

(4) 職員代表から(在宅介護課 課長より)

えびな南ケアセンターの紹介動画(YouTube)で「デイサービスの紹介」「送迎編」を見ていただく。ケアセンター内を見学していただき、階段昇降機の紹介を行った。階段昇降機があることで、サンパルク(マンション)にお住まいのエレベーターが使えない階の方も利用されていることなど紹介。

ご意見・ご質問

- Q. 認知症の人などの対応等で、介護スタッフの負担が大きいと思われる。スタッフの気持ちのケアも大切だと思うが、どのようにしているのだろうか。

A. まず、職員は、認知症の方の特徴を知ること、理解することを求められている。専門職としての知識をもち対応できるように職員育成をしている（認知症の方と関わるテクニックがある）。利用者対応は専門性が高まると対応できるものだが、最近は、どちらかという、「カスハラ」の問題がクローズアップされている。カスハラに対しては、組織は職員を守る姿勢でいる。

- ・メンタル面を支えることが必要な仕事であるが、スタッフのフォローが本当に大変だろうと思う。
- ・マンションでも住民からハラスメントではないかと思われる光景を見たことがある。昔は、今でいうハラスメントにあたるようなことも当たり前にあったので、時代の変化であろう。

Q. 退職する職員は多いのだろうか。

A. 離職率は下がっている。体調の理由で退職する人はいる。離職というより、入職する人が少ない（採用したくても応募者がいない）。

Q. 以前、特養に申込をした際に 200 人待ちと言われた。今もそうなのだろうか。

A. そのような時代もあった。今は、順番待ちをしている方に定期的に連絡をしてご本人の状況を確認している。（待っている間にご逝去されている方などもいるため。）順番については、申込の早い者順ではなく、介護度や居住地などの条件を点数化して、点数の高い人から声をかけている。

2. 地域住民代表、ボランティア代表、ご家族代表より

- ・母親がえびな南のショートステイを利用していた時に面会に来ていたことがある。その頃のことを思い出しながら話を聴くことができ、良かったです。
- ・いかに職員のことをフォローしていくか、ポジティブにしていくことがどれだけ大変なことかが勉強になりました。
- ・話を聴いて、大変な仕事であることがわかりました。
- ・両親がお世話になるかもしれないので、その時はよろしくお願いします。
- ・デイサービスの皆さんがいろいろ作られたものを見ることができて良かったです。
- ・デイサービスは見たことがなく、今日初めて見学しました。いろいろな活動をしていることがわかりました。
- ・いろいろなことを知ることができて、とても勉強になりました。

3. 次回の日程 第 2 回えびな南高齢者施設運営協議会

9 月 19 日（土） 14 時 ～ 16 時